

①「食と健康」に関する研究会/食品の分類と使い方に関する研究

名称	①「食と健康」に関する研究会/食品の分類と使い方に関する研究		
目的	健康寿命を延伸させる上で、食の3次機能である生体調節機能について考察し、超高齢者社会における「食と健康」に関する検証を行う。平成28年度からは「食品の分類と使い方」について検証を開始する		
課題	現在、食の3次機能に関する情報が氾濫し、医療・薬学関係者等の専門家においても、極めて複雑、難解で、同分野に関与しにくい状況を招いている。そのため一般人も含め、医療関係者が活用できるオーソライズされた食品分類が求められる。		
代表者	役職名	氏名	法人名・役職
	座長	太田 伸	東京薬科大学 前副学長
	副座長	天ヶ瀬 晴信	国際栄養食品協会 理事長
達成内容	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品集に該当する健康食品集を作成する ・健康食品に馴染みのない医療・健康・栄養関係者が共通に活用できる分類を作成する 		
成果物	<ul style="list-style-type: none"> ・食と健康に関する分類表 ・新しい食と健康に関する分類表を年次大会等で公表し、新しい用途・使い方を探る。 		
活動内容 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・研究会を開催する中で、関係団体等とのヒアリングを行う ・関係企業等へのインタビューを行う 		
研究会開催 スケジュール	・1～2カ月に1回程度の研究会活動、1年ごとに報告書をまとめる		
運営方法と ルール	議事録作成者は横田		
備考			